

わかやなぎよもぎた
「若柳蓬田地域の棚田」

くりはらし はたおかむら
【所在地】宮城県栗原市（旧畑岡村）

【面積】勾配 1/20 以上の田 18.8ha



令和3年度よもぎたフォトコンテスト特選賞作品「棚田の夜明け」

＜若柳蓬田地域の棚田の概要＞

○豊かな自然環境

ラムサール条約の登録湿地である伊豆沼を有し、豊かな自然と環境に調和した農業が営まれている。

○不作付地の解消

レンコンや飼料作物、主食用米の生産に取り組んでいるほか、令和3年度からは主食用米の生産の目安が大幅に減産されたことから、高収益作物として「たまねぎ」の生産が始まるなど、農業所得の向上に資する取り組みが行われている。

○農地保全活動

中山間地域等直接支払制度には第2期対策から取り組み、農地の保全活動のほか、自然生態系の保全など多面的な機能を持つ13個のため池を適正に管理、保全することにより、農作物の生産に必要な不可欠な農業用水の供給機能の確保に尽力している。

○都市農村交流

令和2年度から4年度まで、県が実施する農山漁村集落体制づくり支援事業を活用し、棚田から生まれる都市部との交流事業として、仙台市近郊の大学と連携して農作業体験や収穫祭を行っており、当該事業が終了した令和5年度も交流が続いている。また、同時期に始まった「よもぎたフォトコンテスト」に関しても恒例事業となりつつあり、棚田という地域の資源を地域の宝として、農業生産活動だけでなく、都市部との交流拠点や地域の魅力発信の役割などを担い、当地域にとって重要な地域資源となっている。



【大学連携での農作業体験】